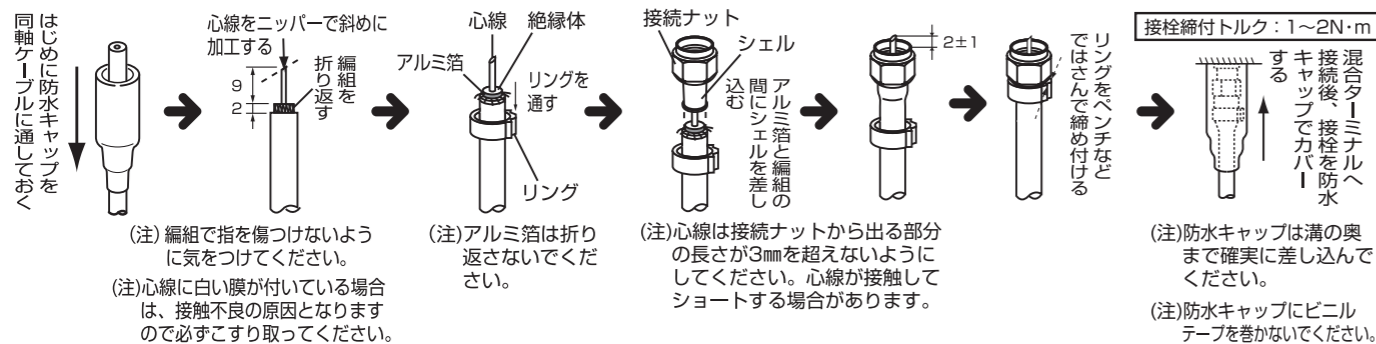


F-5接栓(付属品)への同軸ケーブル接続方法 (S-5C-FBケーブルの場合) (単位: mm)



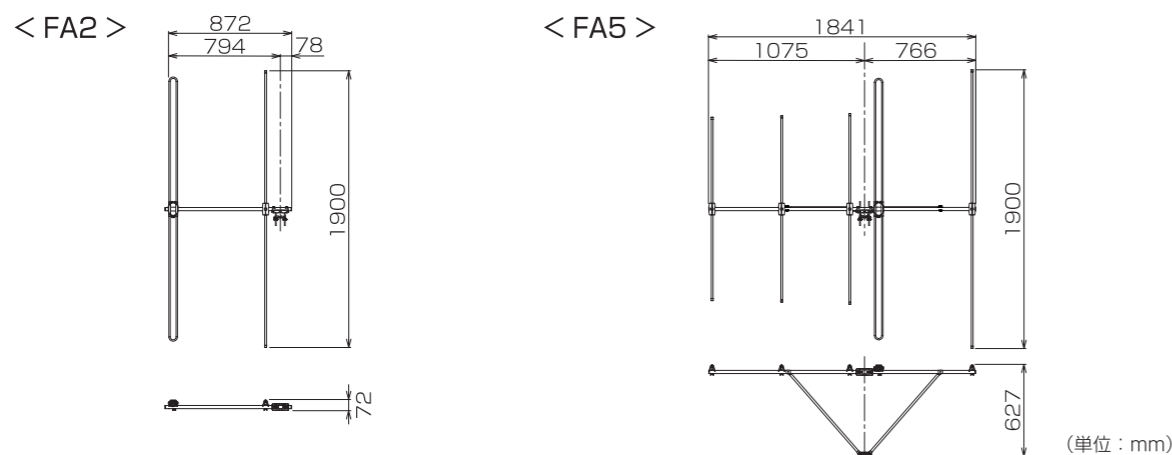
- 防水キャップは同軸ケーブルを加工する前に通しておき、取付後は容易に抜けないことを確認してください。
- 防水キャップにはビニルテープを巻かないでください。雨水がたまって故障の原因となります。
- 接栓の接続後、必ず防水キャップをしっかり奥まで取り付けてください。
- 電波を効率よく伝達するため、低損失の同軸ケーブル (S-5C-FBなど) のご使用をおすすめします。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線が曲がっていないかよく確かめ、また心線を曲げないように接続してください。

※ 他の種類のケーブルを使用する場合は、使用するケーブルに適合した接栓をご使用ください。

使用上のご注意

- アンテナを設置するとき、ネジ類はスパナなど工具を用いて、指定の締付トルクでしっかりと締め付けてください。
- アンテナマストは、ステーワイヤーを用いて3~4方向からしっかり張ってください。ステーワイヤーの固定には「支線止め」をおすすめします。

外形寸法図



性能規格

品名	FM2素子アンテナ		FM5素子アンテナ	
	FA2		FA5	
素子数	2		5	
受信帯域	FM	V-Low	FM	V-Low
受信周波数 (MHz)	76 ~ 95	95 ~ 108	76 ~ 95	95 ~ 108
偏波面	水平偏波専用		水平偏波専用	
インピーダンス (Ω)	75(F形)		75(F形)	
動作利得 (dB)	-2 ~ 4.5	-3.5 ~ 0	4 ~ 5.5	4 ~ 7
前後比 (dB)	5 ~ 14	4 ~ 10	7 ~ 16	7 ~ 16
V S W R	-		-	
半値幅 (°)	60 ~ 76	60 ~ 72	58 ~ 68	48 ~ 64
受風面積 (㎡)	0.09		0.17	
耐風速 (m/s)	45 (注)		45 (注)	
適合マスト径 (mm)	φ22 ~ 49		φ22 ~ 49	
質量 (kg)	0.85		1.85	
寸法 (H) × (W) × (L)	72 × 1900 × 872		627 × 1900 × 1841	

(注) 耐風速は破壊風速です。

※規格は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

カスタマーセンター ☎ 0120-941-542 携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用になれない場合 03-4530-8079

お昼時間も土・日・祝日もご利用ください! (受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)

DXアンテナ株式会社 本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

(1404)

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



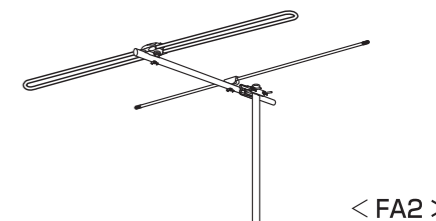
FM・V-Lowアンテナ

水平偏波専用モデル (※1)

FM 76~95MHz・V-Low 95~108MHz

[FM補完放送対応] (※2)

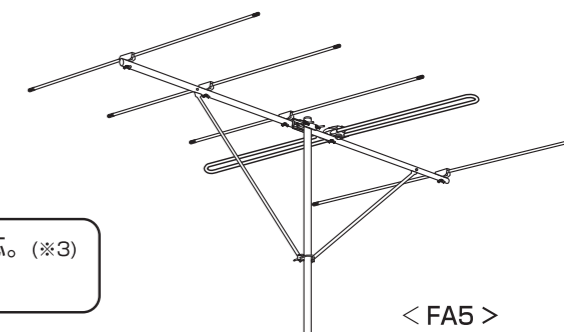
[V-Low放送対応] (※3)



2素子 FA2

5素子 FA5 (ステーアーム付)

- FMおよびFM補完放送に対応。 (※2)
- V-Low放送受信に対応。 (※3)
- 給電部にはF形接栓を採用。(F-5接栓付属)



(※1) 垂直偏波の地域では使用できません。

(※2) FM補完放送とは…AM放送局の放送区域で難聴対策や災害対策のためにFMの周波数で補完的にAM番組を放送することです。

(※3) FMとV-Lowを同時に受信する場合、FMの電波が強すぎて受信機(別売のブースターを使用する場合はブースター)が過入力になる場合があります。その場合は、アンテナ出力と機器の間に別売のアッテネーターを挿入することで改善できる場合があります。

安全上のご注意



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は接触禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は注意して行なってください)が描かれています。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- この製品に接続する同軸ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。同軸ケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。



- 次のような場所には設置しないでください。
 - ・送配電線、ネオンサイン、電車の架線や電話線などの近くアンテナが倒れた場合、感電、断線の原因となります。
 - ・人や車両の通行の妨げになる場所人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。
 - ・地盤の弱い場所、強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
 - ・煙突の付近や高温になる場所火災の原因となります。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 分解・調整・修理はしない
 - ・防水不良による故障や感電の原因となりますので、アンテナの給電部のカバーは開けないでください。
 - ・給電部の内部部品は調整済みです。ケース内部には触れないでください。
 - 故障や感電、けがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。
- 設置やお手入れ、点検をする際には、次のことにご注意ください。
 - ・高所などでは足場と安全を確保し、作業時は手袋をするなど安全対策をしてから行なってください。
 - 落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。
 - ・組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)に指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、しっかりと固定してください。
 - 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
 - ・風の強い日、雨、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事やお手入れ、点検をしないでください。
 - 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
 - ・アンテナの部品や工具類を高い所から落とさないでください。
 - けがの原因となります。アンテナ部品や工具類をひもで結ぶなど落下防止に留意して作業してください。



- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



注意

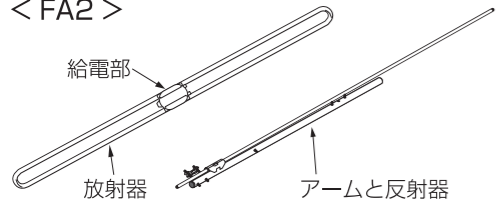
この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。
- アンテナなどに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ず確認のうえ、取り付けてください。

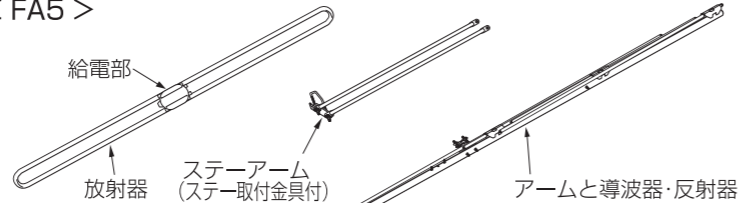


構成部品

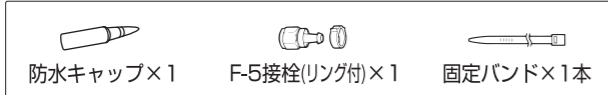
アンテナ本体 < FA2 >



< FA5 >

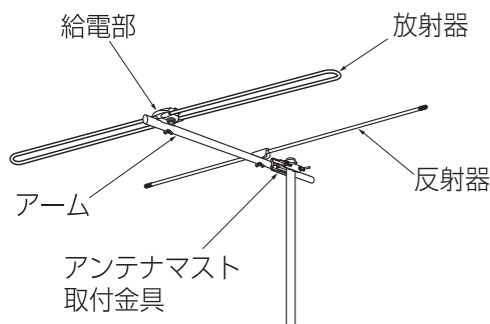


付属品 < 共通 >

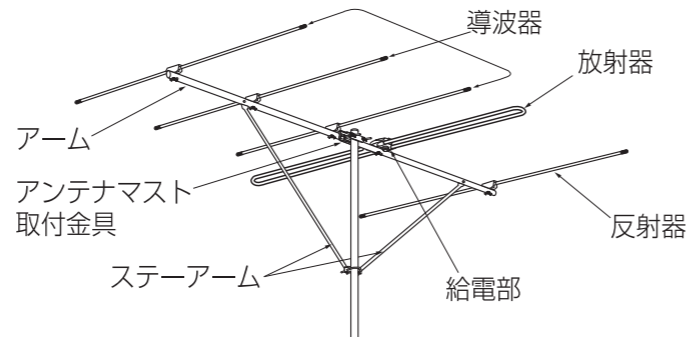


各部の名称

< FA2 >



< FA5 >



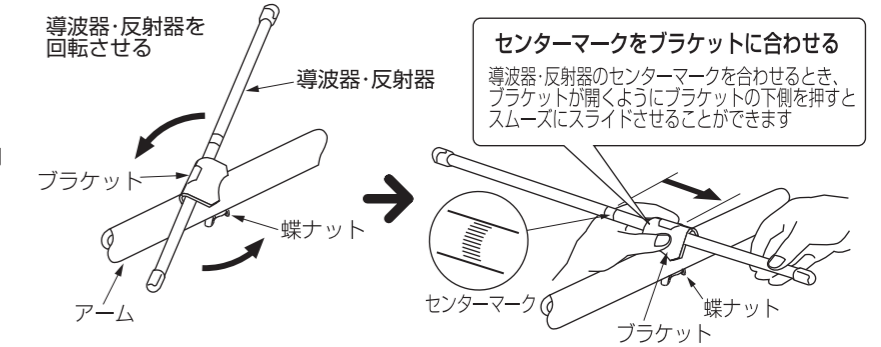
お取扱いの前に

- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、アームや導波器、反射器を曲げるなど無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 屋根などに取り付ける場合、瓦やスレートなど設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。
- アンテナ本体やアンテナマスト、ステーアーム(支線)などが、電灯線や電話線に近づかないよう、十分離して取り付けてください。
- このアンテナは直径22mm~49mmのアンテナマストに取り付けることができます。
- アンテナの設置は局の方向を確認してから行なってください。

アンテナの組立方法

● 導波器<FA5>・反射器<共通>の組み立て

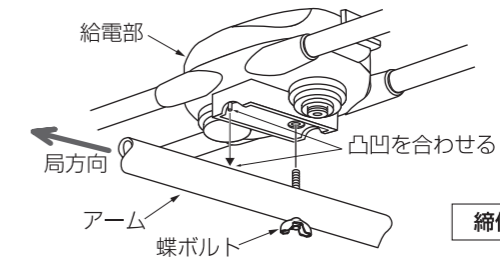
- ① プラケットの蝶ナットをゆるめて導波器・反射器がアームに対して直角になるように回転させてください。
- ② 導波器・反射器のセンターマークをプラケットに合わせて蝶ナットでしっかりと締め付けてください。



締め付トルク 1.5 ~ 2 N・m

● 給電部の組み立て < 共通 >

給電部とアームの凸凹を合わせて蝶ボルトでしっかりと締め付けてください。

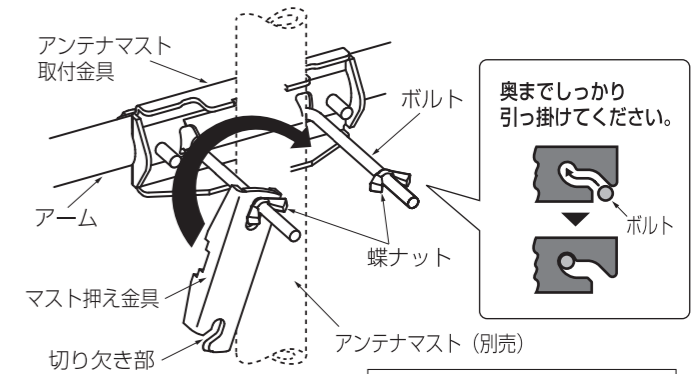


締め付トルク 1.5 ~ 2 N・m

アンテナマストへの取付方法 < 共通 >

- ① 図のようにマスト押え金具の切り欠き部をボルトに掛け、蝶ナットを軽く締めてアンテナマストへ仮固定します。
- ② FM対応のレベルチェッカーやFMラジオを確認しながら受信状況が最適になるようにアンテナの方向を調整した後、蝶ナットをしっかりと締め付けて固定してください。

(このアンテナは直径22mm~49mmのアンテナマストに取り付けることができます。)

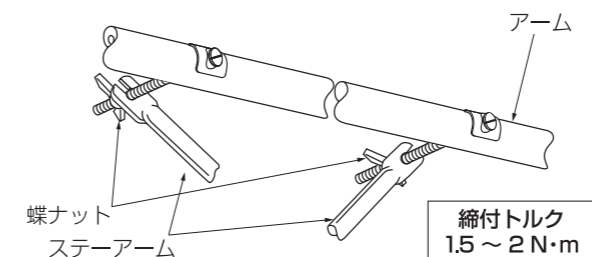


締め付トルク 4 ~ 5 N・m

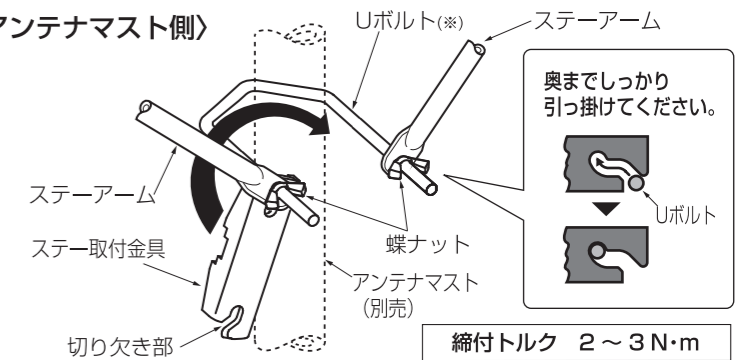
ステーアームの取り付け < FA5のみ >

- ① アーム側に取り付けられた蝶ナットを一旦緩めてからステーアームを掛け、蝶ナットをしっかりと締め付けてください。
- ② アンテナマスト側のステー取付金具の切り欠き部をボルトに掛け、蝶ナットをしっかりと締めてアンテナマストへ固定します。

< アーム側 >



< アンテナマスト側 >



締め付トルク 2 ~ 3 N・m

(※) Uボルト、蝶ナット、ステー取付金具は、ステーアームに取付済